

成田市環境基本計画 2022(令和4)年度 年次総括

各重点プロジェクトの進捗状況一覧

	項目	推進目標・指標等 2027(令和9)年度	推進目標・指標等の状況【前年度】 2021(令和3)年度	推進目標・指標等の状況 2022(令和4)年度
重点プロジェクトⅠ 生き物・里地里山のふれあいづくり	継続的・定期的な動植物生息調査の実施及び情報の提供	第4次調査 (2024~2025(令和6~7)年度 予定)	-	-
	自然環境情報の発信	調査結果の情報発信 自然学習教材の提供	市ホームページに調査結果を掲載 イベント時に自然学習教材を提供	市ホームページに調査結果を掲載 イベント時に自然学習教材を提供
	生き物・里地里山のふれあい拠点の選定	ふれあい拠点の募集・選定の実施 1拠点以上選定・活用	ふれあい拠点の選定0件 坂田ヶ池総合公園の選定に向けた調査・協議を実施 坂田ヶ池総合公園において日常管理のほかモミジの植栽を実施	坂田ヶ池総合公園を選定 指定管理者及びなれた環境ネットワークと市の共催で 自然観察会を合計5回開催
重点プロジェクトⅡ エコライフによる低炭素なまちづくり	エネルギー起源の温室効果ガス(CO2)排出量	基準年:2013(平成25)年度 2,049千t-CO ₂ 目標値:2030(令和12)年度 1,730千t-CO ₂ 基準年度比約16%の削減	2018(平成30)年度 1,900千t-CO ₂ 基準年度比7.3%減	2019(令和元)年度 1,838千t-CO ₂ 基準年度比10.3%減
	小・中学校太陽光発電整備率	71.0%	51.7% 29校のうち、15校に整備済み	55.2% 29校のうち16校に整備済み
	成田市地球環境保全協定への参加事業所数	300事業所	186事業所 達成率62.0%	193事業所 達成率64.0%
	成田市環境保全率先実行計画によるCO2排出削減	基準年:2016(平成28)年度 60.03千t-CO ₂ 目標値:2020(令和2)年度 56.03千t-CO ₂	37.65千t-CO ₂ 達成率148.8%	44.36千t-CO ₂ 達成率126.3%
重点プロジェクトⅢ 3Rによる循環型まちづくり	ごみの総排出量	47,300t	49,221t 達成率96%	48,507t 達成率98%
	1人1日当たりのごみの排出量	938g/人・日	1,032g/人・日 達成率91%	1,018g/人・日 達成率92%
	ごみのリサイクル率	28%	18.7% 達成率67%	18.1% 達成率65%
重点プロジェクトⅣ 環境交流のまちづくり	なれた環境ネットワーク加入団体数	81団体	69団体 達成率85%	70団体 達成率86%
	環境会議等国際交流の推進	関連する国際交流等と連携して定期的に開催	外国人向けにごみの分別に関して「やさしい日本語」を使用したパンフレットを配布	資源物とごみの分け方・出し方パンフレットについて、新たに3言語版を追加
【推進事務局】 取組の成果と評価及び今後の課題・方針について	市の重点的取組における、取組の成果と評価及び今後の課題・方針については別添「2022(令和4)年度 成田市環境基本計画年次報告書」とおり。			

成田市環境基本計画 2022(令和4)年度 年次総括

<p>【環境審議会】 質問及び意見に対する回答</p>	<p>別添「令和5年度第2回成田市環境審議会 環境審議会委員からの意見及び回答」とおり。</p>
<p>【環境管理委員会】 評価及び改善提案</p>	<p>各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課と連携を図り速やかに改善に取り組むこと。具体的な改善提案については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たに策定された成田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について、市民・事業者へ周知啓発を行うこと、また、ゼロカーボンシティの実現に向けた新たな取り組みを検討すること。 ●民生部門におけるCO₂排出量の削減に寄与している、住宅用省エネルギー設備設置費補助について、令和4年度は新たに電気自動車及びV2H充放電設備を補助対象設備に追加し、令和5年度からはプラグインハイブリッド自動車を追加している。今後も社会情勢や他自治体の動向なども注視しつつ、新たな対象設備の追加についても検討するとともに、引き続き制度の周知に努め、さらなる省エネルギー設備の導入促進を図ること。 ●成田市役所エコオフィスアクションについては、温室効果ガス排出量削減に関する第4次計画の目標を達成した。新たに策定した第5次計画で掲げている更なる高い目標の達成に向けて、ZEB化を視野に入れ、公共施設への太陽光発電やLED照明の導入を進めるとともに、公用車の電動化をさらに推進すること。 ●特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。 ●森林環境の保全及び森林機能の高度発揮のため、現在実施している森林保全活動推進事業補助金及び森林・山村多面的機能発揮対策補助金を活用した森林整備や「里山ボランティア研修」などにより、さらに取組を推進すること。 ●「ごみの総排出量」・「1人1日当たりのごみの排出量」は、減少傾向にあるが、前年度と比較してリサイクル率については低下した。推進目標の達成に向けて引き続き広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。 ●事業系ごみの減量・資源化については、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の適正分別を推進、ダンボールや古紙などの紙類や食品残さ等、資源物のリサイクルを推進し、近隣市町村の状況をみながら処理手数料の見直しや新事業について検討すること。 ●環境会議等の国際交流について、令和4年度については、ごみ分別等についてのパンフレットを外国人向けに新たに3言語版を追加した。今後も、国際交流の観点を持ちながら環境施策に取り組んでいくこと。
<p>【環境管理統括者】 評価及び改善提案</p>	<p>各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課と連携を図り速やかに改善に取り組むこと。具体的な改善提案については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たに策定された成田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について、市民・事業者へ周知啓発を行うこと、また、ゼロカーボンシティの実現に向けた新たな取り組みを検討すること。 ●民生部門におけるCO₂排出量の削減に寄与している、住宅用省エネルギー設備設置費補助について、令和4年度は新たに電気自動車及びV2H充放電設備を補助対象設備に追加し、令和5年度からはプラグインハイブリッド自動車を追加している。今後も社会情勢や他自治体の動向なども注視しつつ、新たな対象設備の追加についても検討するとともに、引き続き制度の周知に努め、さらなる省エネルギー設備の導入促進を図ること。 ●成田市役所エコオフィスアクションについては、温室効果ガス排出量削減に関する第4次計画の目標を達成した。新たに策定した第5次計画で掲げている更なる高い目標の達成に向けて、ZEB化を視野に入れ、公共施設への太陽光発電やLED照明の導入を進めるとともに、公用車の電動化をさらに推進すること。 ●特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。 ●森林環境の保全及び森林機能の高度発揮のため、現在実施している森林保全活動推進事業補助金及び森林・山村多面的機能発揮対策補助金を活用した森林整備や「里山ボランティア研修」などにより、さらに取組を推進すること。 ●「ごみの総排出量」・「1人1日当たりのごみの排出量」は、減少傾向にあるが、前年度と比較してリサイクル率については低下した。推進目標の達成に向けて引き続き広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。 ●事業系ごみの減量・資源化については、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の適正分別を推進、ダンボールや古紙などの紙類や食品残さ等、資源物のリサイクルを推進し、近隣市町村の状況をみながら処理手数料の見直しや新事業について検討すること。 ●環境会議等の国際交流について、令和4年度については、ごみ分別等についてのパンフレットを外国人向けに新たに3言語版を追加した。今後も、国際交流の観点を持ちながら環境施策に取り組んでいくこと。